

## 議事概要

【会議名】 第1回 立川市学校給食共同調理場における食中毒再発防止対策検討委員会

【日時】

平成29年3月2日(木)午後7時～午後9時20分

【場所】

立川市学校給食共同調理場

【出席者】 [委員] 岡部直士・石田裕美・竹口甲三・伊佐間茂樹・早川和男

【説明者】 [市関係] 教育長・教育部長・教育総務課長・学校給食課長・  
学校給食課管理係長・学校給食課給食係長・学校給食課管理係2名  
[グリーンハウス] 6名

- 【次第】
- 1 委員委嘱状交付
  - 2 あいさつ(教育長)
  - 3 委員長及び副委員長の選出
  - 4 議題
    - (1) 平成29年2月発生 立川市食中毒事案の概要について
    - (2) 学校給食共同調理場の事業について
    - (3) 食中毒の再発防止について
    - (4) その他

【概要】

- 1 委員委嘱状交付
- 2 あいさつ(教育長)

児童、保護者、教職員の皆様に辛い思いをさせてしまった。4月の給食再開に向けて万全を期したい。そのために各委員の専門的見地からご意見をいただきたい。
- 3 委員長及び副委員長の選出
  - (1) 委員長 岡部委員
  - (2) 副委員長 竹口委員
- 4 議題
  - (1) 平成29年2月発生 立川市食中毒事案の概要について
    - ①事務局より、資料1に基づき事案の概要を説明。
    - ②まず、委員の共通認識として、ノロウイルスが「キザみのり」から検出されたこと及び短期間で原因を特定できたことについて確認する。
    - ③委員意見、質疑等
      - a 1月に和歌山県御坊市でノロウイルスによる食中毒が発生したが、この事案だけでは、「キザみのり」に原因があるとは気付けなかった。立川市、さらに小平市での事案があったことから、原因食材の特定に至った。
      - b 喫食から発症まで早すぎるとの指摘については、ノロウイルスの場合、『早い人では喫食から数時間後に発症する人もいる』との情報が示された。
      - c 事件発生の確知時間が保健所と市で異なるとの指摘については、事務局より『市は学校経由で情報が入った時間であり、保健所は調査票により事実を後で知ったことによるものである。』と回答。
  - (2) 学校給食共同調理場の事業について 及び 食中毒の再発防止について
    - ①事務局より、立川市学校給食共同調理場の事業形態、食材選定や調理方法など、

献立作成から給食提供までの流れを説明。

②委員意見、質疑等

a 加熱調理するものの温度管理について

- ・ 中心温度の計測方法について確認
- ・ 回転釜においては1釜あたり3か所にて温度計測しているが、釜の内部においては、釜の金属部分に近い箇所は高温になりやすいが、金属部分から離れた箇所は高温になりにくいので注意が必要である。

b 食材等の品質管理について

- ・ 食材や調理済みのものについて、微生物検査を毎日実施すべきと考える。
- ・ 食材の選定・発注にあたって、規格書以外にも品質を確認するための書類について、納品事業者へ提出を求める必要がある。
- ・ 調理場で加熱調理をしない食材については「ノロウイルスの非感染検査証明書」が必要と考える。

c 食材の保存について

- ・ 原則として食材はその一部を保存する義務があるが、海苔など乾物類はその義務がない。そのために原因食材を特定しにくかったと思われる。今後は、乾物類も保存し、一定のルールを設けて保存した方が良い。

d 調理従事者のトイレ使用について

- ・ 用便後、流す際は蓋をする必要がある。蓋をしないと、便にノロウイルスが含まれていた場合、ノロウイルスが空間を90分程度漂ってしまうので注意が必要である。

e 調理従事者の手洗いについて

- ・ 手洗い時間に個々人で差が生じないように、タイマーなどで計測する必要がある。

f 調理室内でおう吐した場合の対応の充実について

- ・ 吐物処理BOXを室内に常備すべき。
- ・ おう吐があった場合の対処について、シミュレーションが必要である。

g その他

- ・ ノロウイルス感染が疑われる下痢やおう吐が発症した場合、二次感染を防ぐ意味で、今後学校を休校する際の規準を検討する必要がある。
- ・ 検食について、今後は、調理従事者は検食しないこととするよう検討してもらいたい。ノロウイルスの感染経路の特定が難しくなるため。
- ・ 2月18日にこの施設へ立ち入り調査をした際、(株)グリーンハウスへヒアリングをしたが、同社の日々の衛生管理は充分に行われていたと感じた。しかし、このようなことが起きてしまった以上、立川市だけの取り組みでは再発を防ぐことはできない。その意味で、グリーンハウスにも更なる努力をお願いすることになる。

<第1回検討委員会となる今回は、委員間の情報共有とともに自由な意見交換を中心とした。次回は、ポイントを絞って検討を深めることとする。>

以上